

よのなかづくり
事業報告

これからの「よのなか」を創る人を育てる！
「こども・若者と「よのなか」をつなぐ学び」

◆こども・若者を取り巻く社会的な危機

若者を中心としたニートといわれる就業意欲の低下や社会的無関心、投票率の低下に見られる政治的無関心は、これからの「よのなか」を考えると、重大な社会的危機であると感じています。

このような問題をなんとかしたい。そういう動機から、「学びの中で実際の世の中を題材とすることで、こども・若者と世の中をつなぎ、市民性を育む」シティズンシップ（主権者）教育を提供しよう、NPO法人NEXT CONEXIONを立ち上げました。

◆こども・若者が創る「よのなか」づくり

「まちづくり活動アシスト事業」による助成金を基に、世の中を知り、自分達で考え、議論し行動するスキルを身につけるシティズンシップ教育「civic」と、実際に施設内に仮の街を作製し、こども達が市民としての役割や責任を体験しながら学ぶ「こどもタウン」を実施しました。

「civic」では、まちづくりや道徳・人権に関するテーマをゲームや議論

を通して考えるとともに、模擬投票や模擬裁判を行うなど、内容にリアリティを持たせ、楽しく学べることに心がけました。その結果、こどもから「自分で何か行動してみたい」という声が上がることがになり、保護者からは「こどもが、学校でクラスのために積極的に活動するようになった」と感謝の言葉をいただきました。



真剣なまなざし

「こどもタウン」については、松山市の企業団体・行政の協力のもと、松山市立姫山小学校で開催しました。「こどもタウン」では、こども達が仕事を体験し、仕事の対価として仮想通貨・イットをもらい、街の中で買い物をしたり、サービスを受け、納税をします。こういった市民生活や経済活動の疑似体験を通して、街の仕組みや街を良くするための方策を考えます。こども達からは「楽

(松山市)
NPO法人
NEXT CONEXION
代表 越智 大貴



しかった」「また参加したい」という声が多くあり、企画としても、こども達の学びの機会としても成功裏に終えることができました。

◆事業を通して

今回、「civic」や「こどもタウン」に参加できなかった保護者から「次は是非参加させたい」という声をいただき、活動の広がりを実感しています。今年の参議院選挙から、選挙権が18歳に引き下がり、世の中におけるこども・若者の役割が大きくなっています。

これからも、この事業を通して、こども・若者が世の中に参画することを促し、これからの「よのなか」を創ってゆく人材を育成していきたいと考えています。



疑似体験を通じた社会教育